

## 外国語科学習指導案

- |   |       |                                    |
|---|-------|------------------------------------|
| 1 | 履修単位数 | 3 単位                               |
| 2 | 実施日時  | 令和7年9月30日（火） 第5時限                  |
| 3 | 学 級   | 1 2 HR（15名）                        |
| 4 | 使用教科書 | VISTA English Communication I（三省堂） |
| 5 | 単 元 名 | Lesson 4 Pictogram                 |

6 本単元で扱う領域における「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標（第1学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
身近な話題についての概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。	身近な話題について読み、概要や要点を把握することができる。	身近な話題について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合うことができる。	身近な話題について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを発表することができる。	身近な話題について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを書くことができる。

7 単元設定の理由

○教材観

本単元は、1964年の東京オリンピック大会で初めて導入されたピクトグラムの開発背景や工夫点、公共施設での使用例を通じて、言語や文化の違いを超えて効果的に情報を伝えることができるピクトグラムの社会的有用性を知り、身近なコミュニケーション・ツールであるピクトグラムへの理解を深める内容となっている。

言語材料としては、助動詞(**can, will**)と動名詞(主語・目的語・補語・前置詞の後の**~ing**)が取り上げられている。これらは、ピクトグラムによって可能となることやその使用によって想定されること、良いピクトグラムの条件、ピクトグラム改善の際の留意点などを説明する際に使用されている。

したがって、助動詞や動名詞を含む定型文を参考にしながら、基本的な語句や文を用いて、自分が選んだ興味深いピクトグラムについての情報や考えを発表して伝える力を養うことができるものとする。

○生徒観

本学級の生徒は、「読むこと」や「聞くこと」に意欲を持って取り組み、「やりとり」や「発表」を通して英語を話して伝えたいという願いを抱いているが、語彙や文法に苦手意識を持つ生徒も多い。

そこで、本単元では、基本的な語句や文を用いたり、学んだ言語材料を活用した定型文を参考にしたりしながら、ペアワークやグループワーク、発表など、アウトプットの言語活動をできるだけ多く取り入れたい。準備や練習の時間を十分に確保することで話すことへの不安感を軽減し、表現活動に対し積極的に取り組ませ、ピクトグラムについての情報や考えを発表して伝える力を養いたい。

○指導観

本単元は、言語や文化の違いを超えて効果的に情報を伝えることができるピクトグラムの有用性を理解させ、身近なコミュニケーション・ツールとしてのピクトグラムに対する関心を高め、興味深いピクトグラムについての情報や考えを発表して伝える力を養うのに適した内容となっている。

そこで、言語活動として、ピクトグラムの役割を考えることを通して、聞いたり読んだりすることと話すこと[発表]との技能の統合に焦点を当てた指導を行う。単元終末の言語活動として、他言語や異文化の人々に配慮した情報発信に向けて、学校訪問で本校に立ち寄った外国人生徒が食堂の利用方法を容易に理解できるようにするために、外国人生徒の立場に立って必要な情報を整理し、必要なピクトグラムを選定し、そのデザインを考える。ピクトグラムが示す内容や必要性について英語で説明することで、日本語を解さない外国人生徒でも本校の食堂をスムーズに利

用できるようなピクトグラムを準備し、ピクトグラムについての情報や考えを発表する力を養わせたい。

### 8 単元の目標

興味深いピクトグラムについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを発表して伝えることができる。

### 9 単元の評価規準（「話すこと[発表]」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉 助動詞や動名詞に関する事項を理解している。</p> <p>〈技能〉 興味深いピクトグラムについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを発表する技能を身に付けている。</p>	<p>興味深いピクトグラムについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを発表して伝えている。</p>	<p>興味深いピクトグラムについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。</p>

### 10 指導と評価の計画（7時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	評価			備考
		知	思	態	
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■文字の代わりに、社会の様々な場面で使用されているピクトグラムについて、情報や考えを共有する。</p> <p>①インターネットの情報で得たピクトグラムに関して、知っていることを班で確認する。</p> <p>②ピクトグラムは社会でどのような役割を果たしているのかについて班で意見を出し合い、クラス全体で共有する。</p>				<p>・単元を通して学習の振り返りは適宜行わせる。</p>
2	<p>■1964年の東京オリンピックからピクトグラムが使われ始めた理由を読み取り、地元の言語を知らない人でも意味がわかるピクトグラムの意義を理解する。</p> <p>①Section 1の本文を読んで、内容理解に関する設問に取り組み、ペアで確認する。</p> <p>②なぜ東京オリンピックで競技をピクトグラムで表すようになったのかについて、ペアで感想や意見を伝え合う。</p> <p>③ペアを変えて、②の活動を行う。</p>				<p>一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。</p>
3	<p>■ピクトグラムをデザインする際の注意点を読み取り、良いピクトグラムとはどのようなものであるべきかを理解する。</p> <p>①Section 2の本文を読んで、内容理解に関する設問に取り組み、ペアで確認する。</p> <p>②最近見かけたピクトグラムでわかりやすいと感じたピクトグラムはどのようなものだったかについて、ペアで感想や意見を伝え合う。</p> <p>③ペアを変えて、②の活動を行う。</p>				
4	<p>■温泉を表すピクトグラムが変更された理由を読み取り、言語や文化の違いによって誤解のないように意味を伝えることの重要性を理解する。</p> <p>①Section 3の本文を読んで、内容理解に関する設問に取り組み、ペアで確認する。</p> <p>②温泉を表すピクトグラムが変更されたことによって、どのような点が改善されたのかについて、ペアで感想</p>				

	や意見を伝え合う。 ③ペアを変えて、②の活動を行う。					
5 6	<p>■学校の食堂という身近な状況において、どのようなピクトグラムがあれば初めての人でも利用しやすくなるのかについて具体的に班で考える。</p> <p>①食堂の動画を確認したうえで、見取り図や自分の経験を参考にして、客が食堂に入ってから出るまでスムーズに動くにはどのようなピクトグラムがあれば便利かを考える。</p> <p>②ピクトグラムとそのピクトグラムが表す内容や必要性をMetaMoJi Classroomにまとめる。</p>					一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。
7	<p>■学校訪問で本校に立ち寄った外国人生徒が食堂をスムーズに利用できるように考えたピクトグラムを班ごとに発表し、情報や考えを共有する。</p> <p>①前時に準備したピクトグラムとそのピクトグラムが表す内容や必要性を、MetaMoJi Classroomを使って班ごとに発表する。</p> <p>②各班の発表を聞いて、MetaMoJi Classroomのシートに評価やコメントを書き込む。</p> <p>③他班からの評価やコメントを参考にして、ピクトグラムの説明を修正する。</p> <p>④修正後の内容で、2回目の発表を参観者に対して行う。</p>	○	○	○		
後日	<p>■パフォーマンステストを実施する。</p> <p>前時に扱っていない食堂内の他の場所について、ピクトグラムを示しながら、ALTに食堂の利用方法をわかりやすく伝える。</p>	○	○	○		

### 1.1 本時の活動（第7時）

#### (1) 目標

学校訪問で本校に立ち寄った外国人生徒が食堂をスムーズに利用できるように考えたピクトグラムを班ごとに発表し、情報や考えを共有する。

#### (2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
5分	1 挨拶をし、本時の目標について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の授業の雰囲気作りに努める。</li> <li>本時の目標を確認させて、主体的に取り組む意欲を引き出す。</li> </ul>		
To suggest useful pictograms available for foreign students eating lunch smoothly in the school cafeteria and share ideas				
5分	2 班ごとに発表の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時にまとめた原稿をもとに、発表の段取りなど、最終の準備をさせる。</li> </ul>		
15分	3 班ごとに考えたピクトグラムと、それが表す内容や必要性を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>MetaMoJi Classroomを使って、食堂に必要なピクトグラムを標示させ、それが表す内容や必要性を発表させる。</li> <li>他の生徒には、各班の発表を聞きながら「発表評価シート」に記入させる。</li> </ul>	知 思 態	活動観察

15分	4 他班からの評価やコメントを参考にして、班でアイデアを出し合い、より良いものを考案する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全班の発表終了後、自分の班の発表について「振り返りシート」を記入させる。(自己評価1回目)</li> <li>・ 3で記入した「発表評価シート」をもとに、他班の発表への評価を班ごとにまとめ、MetaMoJi Classroomの共有シートに書き込む。</li> <li>・ 他班からの評価やコメントを参考にして、ピクトグラムの説明を修正する。</li> </ul>		
5分	5 修正後の内容で、2回目の発表をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参観者が5つの班に分かれ、オーディエンスとなる。</li> </ul>	知 思 態	活動観察
5分	6 本時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「振り返りシート」に記入しながら、目標を達成できたかどうかを評価させる。(自己評価2回目)</li> </ul>		

(3) 評価及び指導の例（「話すこと [発表]」）

「十分満足できる」と判断される状況(a)	ピクトグラムについて、助動詞や動名詞を含めた既習表現を用いたり、インターネットで調べたりしながら、情報をまとめてわかりやすく相手に伝えている。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	ピクトグラムについて、助動詞や動名詞を含めた既習表現を用いたり、インターネットで調べて情報をまとめたうえで、相手にわかりやすく伝えることができるように支援する。
「努力を要する」状況(c)と判断した生徒への事後指導	インターネットを活用し、そこから得られた情報をまとめて相手にわかりやすく伝えるよう個別支援を行い、「おおむね満足できる」状況(b)を達成できるようにする。